

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 6月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490101148		
法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム広島矢野西		
所在地	広島県広島市安芸区矢野西1-3-20 (電話) 082-889-5350		
自己評価作成日	令和5年4月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=3490101148-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年5月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

愛の家の運営理念、また介護理念をもとに、ホームとして「施設」ではなく「家」にこだわり、ご利用者がこれまでしてきた生活習慣の継続やしたいこと、また夢を叶えるグループホームを目指し日々のケアに当たっている。ホーム周辺には、コンビニ、スーパー、神社、駅といった社会資源が充実しており、日々散歩を行っている。また散歩の際に地域住民の方と触れ合ったりして、神社の清掃活動に参加したり、地域とのつながりも大切にしている。また、ホーム裏にある広い畑をご利用者様のご家族様と耕し、一緒に収穫などしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

全国に展開しているグループの成功事例を活かし、職員のキャリアアップ、教育を始め、独自の書式など活用し、職員の質の向上を図る事で利用者本位のケアを充実している。特徴的な取り組みとして、第一に、グループホーム内での行事、『雛祭り』『節分』など充実を図っている。第二に、食事の充実を図る取り組みとして、週4日の専属調理師を配置する事で、イベント食、『太巻きと豪華弁当作り』『おでんパーティー』など実施し、美味しい手作り食事の提供、利用者からのリクエストを聞きながら喜んでもらえるように工夫をしている。第三に、働きやすい職場づくりの取り組みから、年2回の職員アンケート、個人面談を年4回実施し、意見を運営に反映している。ベテラン、新人職員に関係なく話しやすい環境を作っている。合言葉『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに日々支援している。

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念・事業所の目標を事務所に掲示し、日々のケア・支援実践に繋げ毎朝の朝礼で唱和を行い、全職員で共有、各職員が理念を達成できるよう実践している。	運営理念を始め、開所当初に職員全員で決めた合言葉『明るく、楽しく、元気よく』、更に接遇目標を事務所に掲示している。毎朝の朝礼時に唱和を行い、ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。ホームビジョン(目標)を毎月の全体会議で評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議への参加声掛けを行ったり、地域の神社の清掃活動に参加したりしている。また散歩などを通して地域住民の方と触れ合う機会を設けるようにしている。	地域情報については、ホーム近くの自治会長を通して知らせがある。年2回の地域の神社の清掃活動に利用者と職員が清掃を行っている。ホーム裏にある畑で取れた野菜を近所におすそ分けをするなど近隣住民とは馴染みの関係継続に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍外出の頻度は減っているが、事業所のすぐ前にあるコンビニやJAに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。またご家族様や地域住民の方からの相談や問い合わせに対して真摯に対応している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では利用者状況や活動内容の報告を写真などを用いて分かりやすく説明している。現在はコロナ禍の為、事業所での取り組みの報告は、書面にてご報告している。ご家族様からの意見はサービス向上の為に活かしている。	コロナ禍の状況を踏まえ書面又は参加型で継続している。利用者の状況、事故報告、今後の予定など報告し、特に参加型の会議では意見交換を行い、例えば、服薬状況、健康面、個別のケース対応など意見交換の場となり、貴重な意見が活かされるように努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	相談や質問があると電話か直接出向いていき担当者と話をするなど、良好な関係を築いている。	市との連携は、ホーム長が主に担っている。市からの研修案内の情報や、そこで得た情報や報告事項があれば、事業所へ周知している。申請関係を含め、相談や質問がある時は、電話や市の窓口へ出向くなどして情報共有を行い、関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>会社全体でのマニュアルがあり、どういった対応が拘束にあたるのか日々話し合っている。又、不適切なケアについても注力しており随時研修・スタッフによるチェックシートでの確認等、定期的に行い身体拘束防止委員会を発足し、不適切ケア・身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年4回の研修実施、法人全体でのマニュアルを整備している。身体拘束防止委員会の年4回の開催では、独自の不適切チェックシートを活用し、不適切なケアがないか振り返りを行っている。ホーム長及びエリアマネージャーとの面談を通して、職員個々の力量、成長していくシステムがある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全社的「虐待・不適切ケア・身体拘束防止の取組」のスケジュールにそって事業所内で研修を行い、身体拘束防止委員会を立上げ、不適切ケア・身体拘束虐待チェックシートを基に現場での状況を把握、場合によっては面談を行い虐待へ繋がる前の段階での対応を行っている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在1名の入居者様が成年後見制度を利用されています。定期的に全体会議などで権利擁護に関する制度について研修を行い理解を深めている。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時にご家族様と重要事項説明書・契約書の読み合わせを行い都度不明点確認を理解・納得をして頂いた上で、契約をしていただいている。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>定期的にご家族様へのアンケートを実施、その結果を公表し改善計画を立て実施している。運営推進会議や日々の面会時、ご要望や意見がないか職員より聞き取りを行い、ご意見等があった場合はご意見を取り入れ運営に反映させている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染状況に応じて、オンライン面会、短時間の対面面会など柔軟に対応をしている。年1回、家族アンケートを実施し、例えば、家族から職員へ伝えていたのに共有が出来ていなかった事柄から連絡ノートを活用し改善した。毎月、担当職員から生活面や健康面を手紙で家族へ送付している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に二度、職員アンケートを行い職員満足度調査を行っている。また、職員会議や全体会議などで、職員のホーム運営に関する意見を聞く機会を設けている。さらに個人面談を最低年4回、個々の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。	年2回、職員満足度アンケートを実施し、脱衣場に手すりを設置し支援の充実を図った事例がある。年4回の個人面談を行い、個々のストレスに感じている事を解消するように努めている。『ありがとうカード』を導入し、職員のモチベーションが向上するよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年間を通してある「キャリアパス制度」を用いて昇段試験を行い、個々の仕事の評価を行っている。また資格取得支援制度を利用して、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得の応援を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の個々のスキルや役割に応じて、社内研修が毎月行われている。資格取得のための研修や入職時の理念研修など個々のスキルアップのために開催され、受講可能なように勤務の調整を行い参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	中国地区、兵庫地区、九州地区のホームが会議、研修、イベントなどで集まる機会が毎月設けられており、その中で取り組みなどの意見交換を行い、各ホームでのサービスの質の向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にアセスメントに行かせて頂きご本人様、ご家族様とお話をさせていただき、困っていることや、不安に思うことや要望などをお聞きし説明を行っている。ホーム見学や本人様との面談を重ね信頼関係の構築に努め安心を確保するための関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ホーム見学時からご家族の困っていること、不安なこと、要望などをお聞きして、ホームとしてできること、出来ないことの説明を行い、十分に納得していただくことで、ご家族の不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様との面談を行い必要とされている支援を見極め、ご本人様にとって最良と思われる支援を第一に考え他サービス利用の紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の不安な気持ちを察し、ゆっくりと傾聴し共感できるような関係を作っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様のホームでの生活状況や、ご本人様の要望、思いを随時ご家族様へ報告し、共に考え、ご本人様にとって最良の提案をしていくよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後も馴染みの人との関係が途切れないよう、時にはご家族様の協力も得ながら、ご親族やご友人に気軽に訪問して頂けるよう働きかけを行っている。	お孫さんから母の日にはカーネーションが届く方もいる。電話のやり取り、年賀状を受け取る事での喜びなど、本人が大切にしていた知人の継続支援に努めている。5/15～7/15は強化月間『散歩をしよう、日向ぼっこをしよう』を掲げ、積極的に近隣を散歩し、馴染みの場所、近隣の方との関りを深めている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方同士お話しできるよう、座席の配慮や活動の支援、必要に応じて職員が介入し、関わり合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご逝去による退居はあるが、他施設へのご退去はまだない。 ご退居があった場合は、退居後もご本人様、ご家族様のへの支援を行う予定としている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族のご要望・ご意向を伺いケアプランに反映している。意思表示が難しい方については、ご家族からの情報をもとに表情や言動より意向や希望を把握し、ケアプランに反映している。	利用開始時に意向を把握し、その後は主に担当職員がコミュニケーションを図り利用者に関わることで利用者の想いの把握に努めている。意思表示が難しい方は、家族からの情報を得て、何事も利用者本位で物事を考え、個々のケアプランに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人様より聞き取り、また、入居前の担当ケアマネより基本情報等でこれまでの暮らしや、馴染みの物、習慣など把握に努めている。入居後の新たな情報収集も記録し、支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル・食事・排泄・水分量など個人記録へ記入、心身の状態等も変化があれば、個人記録・日誌・ケアプラン実施表に記入し、全員が共有できるようにしている。また、毎日朝夕、申し送りを行い、些細な変化にも情報共有を行い、一人ひとりの現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様がより良く暮らせるために、ご本人様の希望、ご家族様の希望を踏まえ、主治医や看護師からの助言や指示などをもとにユニット会議やカンファレンスで話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>独自の書式を活用して利用者・家族の意向を踏まえた計画を作成している。毎日の実施表を活用し、3カ月毎のモニタリングを実施している。必要に応じて、訪問診療時に医師、看護師に相談し、助言を受ける事が出来る。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録は個人別に処遇記録、日報に記載し、職員間で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族様のご希望に添えるよう来所持などにコミュニケーションを図り、意見を聞くようにしている。またその意見を踏まえて柔軟なサービスが提供できるように日々検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍外出の頻度は減っているが、事業所のすぐ前にあるコンビニやJAに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の訪問診療を2週間に一度受診している。また、急変時及び緊急時にも適切な医療を提供できる体制がある。協力歯科医も一週間に一度訪問され希望に応じて受診可能。病院受診になった際などは、ご家族様の希望される病院への受診の支援を行っている。</p>	<p>契約時に希望を聴いているが、2週間毎の訪問診療や24時間の連絡体制を整えていることもあり、全ての利用者が事業所の協力医である。利用者個々の病状により、主治医に相談し、適切な医療が受けられるように対応をしている。必要に応じて、2週間毎の歯科の訪問診療を受ける事が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと連携して利用者様の日常の健康管理を行っている。また24時間オンコール体制を取り、主治医の指示のもと、適切な医療を受けられる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、サマリーを作成し、病院へ情報提供を行っている。また退院時は病院よりサマリーを作成してもらい情報共有に努めている。また定期的に病棟に連絡、面会し状態把握に努めている。ご家族様とも連携をとり、早期退院を目指して取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や終末期の在り方について、本人様、ご家族様の意向を聞き取りしている。また、本人様に終末期が近づいた時には、本人、家族、主治医及び各関係者や職員としっかりと話し合い、事業所ですることを十分に説明を行いながら、方針を共有し、各関係者とチームで支援に取り組んでいる。	年に1回研修を実施している。看取りの経験もあり、希望があれば看取りをする方針である。利用開始時に家族への説明を行い、重度化した場合は、医師と良く話し合い方針を決めている。医師は2週間毎の訪問診療と病院が近距離であり、相談が取りやすい環境である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故救急対応マニュアルを作成し、応急手当・初期対応の勉強会を研修時や消防訓練時に取り入れ、実践力が身に付くように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防訓練を実施しており、あらゆる災害を想定した避難訓練を行っている。マニュアル・緊急連絡網を各ユニットに設置し、消防訓練の報告は家族様へのお便りや運営推進会議でお伝えしている。	夜間想定では利用者と職員が合同で訓練をしている。全国に事業所があり協力体制が整っている。水害が想定されるため、この度、令和5年3月に専門家に調査を依頼し、南海トラフの災害が発生した場合は、1mを上限とした水害が想定された。備蓄を1階から2階へ移動し、18人の3日分を確保している。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的に全体会議にてプライバシー保護研修を実施している。 また日々のケアの中で不適切な言葉かけがないように朝礼、夕礼時に声掛けを行っている。	接遇目標を掲げたり、独自の不適切チェックシートを活用し、振り返る事で職員の意識を高めている。利用者本人が納得する事が大事だと考え、何事も本人への説明と同意を得るようにしている。日頃の対応で気になる点があれば、その都度お互いが注意し合う環境である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いやりのある声かけやケアに心掛け、信頼していただくことで、思いや希望を表しやすい環境をつくるように努めている。また、本人様の選択の権利を大切にし、ご自身で自己決定ができるよう支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、その方がその日をどう過ごしたいか、入居者様の自主性を尊重し、出来る限りその方の希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の希望に合わせ、2ヶ月を目安に一訪問美容でカラーやカットを行っている。行事・外出などの際に、ご自分で好みの服を選んでいただくなどの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食は一週間に二日、パン食など好みのものを召し上がっていただけるよう対応している。月に一度行事食にてご入居者様が好きなお刺身やお寿司などを提供したり、おやつもご入居者様のリクエストを聞きながら喜んでもらえるように工夫している。	管理栄養士のメニューを基本に提供している。週4日の専属調理師を配置する事で季節毎の行事食、『おでんパーティー、太巻きと豪華弁当』など提供し、食の充実を増やす取り組みをしている。事業所で採れた旬の野菜が食卓に並ぶこともある。時には屋外でのランチを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	食事・水分量はチェック表において把握 し1日の必要量が確保できるように支援 している。食事に関しては、管理栄養士 によるメニューを基本に提供、また、楽 しんで水分摂取ができるようコーヒー・ 紅茶・ココアなどの提供を行ったり、栄 養状態が低下している方には主治医と相 談し栄養補助飲料を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、自立度に応じ仕 上げの介助や義歯洗浄をおこなってい る。必要時や希望の方には、週1回歯科 診療・歯科衛生士による口腔ケアを受け ていただくなどの支援しており、誤嚥予 防に口腔体操にも力を入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を利用し一人ひとりの排 泄パターンを把握、パットの使用量軽減 に努めている。できる事は、ご自分で 行って頂くことを基本ケアとし、自立に 向けた支援を行っている。	車いすスペースを確保したトイレが3カ 所あり、その内、1カ所は男性用のトイレ を設置している。利用開始時は紙おむ つ使用者が、定期的な声掛け、トイレ誘 導の成果から紙おむつから布パンツへ改 善した。食物繊維が取れるメニュー、水 分摂取、体操などを取り入れ便秘予防に 努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事では、野菜を多く、栄養バランスを 考えながら、食物繊維が取れるメニュー を提供したり、体操や散歩など無理せず 体を動かせるように支援を行い、食事・ 水分量の把握をし予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	個々の体調や希望に応じ、気持ちよく入 浴して頂けるよう努めている。また、今 までの生活習慣を大切に、夕食後に入 浴を希望される方にも対応して、できる 限り一人ひとりの希望に沿った支援をし ている。	週2回の入浴を基本とし、適宜、足浴を 実施している。夕食後に希望される方 には出来る限りの個別対応の支援をして いる。浴室の環境面では、可動式手すり と浴槽がスライド出来るタイプを整備し ている。脱衣場にあるチェックシートを活 用し、入浴時は皮膚トラブルが無いか確 認している。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活パターンに合わせ昼間にも居室で休めるなどの支援を行っている。また、安心して眠れるように居室の環境づくりや就寝前に会話を行うなどの支援を行ったり、今までの生活習慣を継続し、晩酌を提供など、安眠できるような支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬については、薬処方一覧表を用い服薬マニュアルに沿って服用して頂いている。また、一人ひとりが服用されている薬や効能、それに伴う副作用を薬情ファイルにて確認・理解し症状に変化があれば主治医へ報告・相談している。処方変更時には様子観察を行い記録に残し、情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今までの生活で培われた家事や得意な事を活かしていただき家事の分担などを行っている。気分転換にドライブや好きなアイスクリームを食べに出かけたり晩酌などを楽しみ、笑顔になって頂けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望に合わせて散歩や近所のコンビニに買い物の支援を行っている。	コロナ禍でも感染対策を取って外出している。気候が良ければ周辺を散歩している。季節毎の外出日を設け、『お花見ドライブ、秋の紅葉ドライブ、平和大通りのイルミネーション』などに出掛けている。自立支援の観点から、コロナ禍でも、なるべく外出を行い外気浴に触れる機会作りを増やしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人様が欲しいものは、購入することが可能なように支援している。財布の所持はされているが全員ではなく、ホームの立替金で買い物をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様より希望があったときには、ご家族やご友人に電話をしていただけるよう対応している。ご家族様の大切な日などには、職員から電話をかけることを勧めるなどの対応を行っている。ご家族様によってはお手紙を書いて下さりご本人様に手渡し読み上げの支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ごちゃごちゃ物を置くのではなく、季節的な飾りなどを所々飾るようにしている。また、フロア内の臭いが不快なものにならないように消臭スプレーなどを用いて気を付けている。全体的には居心地よく過ごせるように工夫はしている。	季節の飾りつけをしている。衛生面にも気配りし、間接照明、テーブルやソファの位置など工夫があり、天井も高く明るく広い共有空間である。リビングから出入りできるウッドデッキがある。車いすが移動しやすいように廊下幅も広く、臭いなど不快にならないように消臭スプレーなどを使用している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングには季節を感じていただける様、壁には季節の飾り物をしている。フロアの中央にはゆったりと過ごしていただけるようにソファが2つあり歌番組や野球観戦をしながら談話されている。キッチン、ご利用者様と料理が作れるよう整備されており、調理や食後の食器洗いや片づけを一緒に行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間では、気の合ったご利用者様同士で楽しくお喋りができたり、ひとりで読書をして過ごせるように、ソファの位置や座席の配置など配慮している。また、テラスや庭でも思い思いに過ごせるよう環境の整備を行っている。	ベッド、クローゼット、カーテン、エアコンなど備え付けである。利用の準備にあたっての留意点の書面を参考に、自宅で使い慣れた物、大切にしている物、写真など思い思いの工夫が見られる。本人の身体状況、生活スタイルに応じてベッドの位置などレイアウトを設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで移動がしやすく、廊下には手すりを設置、車椅子も入るトイレにはマークを貼付する等、誰もが安全に自立した生活ができるよう配慮している。また、一人ひとりの自立度に変化に応じ、その都度話し合いを行い、環境を整備している。		

V アウトカム項目(虹ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念・事業所の目標を事務所に掲示し、日々のケア・支援実践に繋げ毎朝の朝礼で唱和を行い、全職員で共有、各職員が理念を達成できるよう実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議への参加声掛けを行ったり、地域の神社の清掃活動に参加したりしている。また散歩などを通して地域住民の方と触れ合う機会を設けるようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍外出の頻度は減っているが、事業所のすぐ前にあるコンビニやJAに防疫対策を行っただけで、お買い物に行っている。またご家族様や地域住民の方からの相談や問い合わせに対して真摯に対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では利用者状況や活動内容の報告を写真などを用いて分かりやすく説明している。現在はコロナ禍の為、事業所での取組みの報告は、書面にてご報告している。ご家族様からの意見はサービス向上の為に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	相談や質問があると電話か直接出向いていき担当者と話をするなど、良好な関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	会社全体でのマニュアルがあり、どういった対応が拘束にあたるのか日々話し合っている。又、不適切なケアについても注力しており随時研修・スタッフによるチェックシートでの確認等、定期的に行い身体拘束防止委員会を発足し、不適切ケア・身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全社的「虐待・不適切ケア・身体拘束防止の取組」のスケジュールにそって事業所内で研修を行い、身体拘束防止委員会を立上げ、不適切ケア・身体拘束虐待チェックシートを基に現場での状況を把握、場合によっては面談を行い虐待へ繋がる前の段階での対応を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在1名の入居者様が成年後見制度を利用されています。定期的に全体会議などで権利擁護に関する制度について研修を行い理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時にご家族様と重要事項説明書・契約書の読み合わせを行い都度不明点確認を理解・納得をして頂いた上で、契約をしていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的にご家族様へのアンケートを実施、その結果を公表し改善計画を立て実施している。運営推進会議や日々の面会時、ご要望や意見がないか職員より聞き取りを行い、ご意見等があった場合はご意見を取り入れ運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に二度、職員アンケートを行い職員満足度調査を行っている。また、職員会議や全体会議などで、職員のホーム運営に関する意見を聞く機会を設けている。さらに個人面談を最低年4回、個々の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年間を通してある「キャリアパス制度」を用いて昇段試験を行い、個々の仕事の評価を行っている。また資格取得支援制度を利用して、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得の応援を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の個々のスキルや役割に応じて、社内研修が毎月行われている。資格取得のための研修や入職時の理念研修など個々のスキルアップのために開催され、受講可能なように勤務の調整を行い参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	中国地区、兵庫地区、九州地区のホームが会議、研修、イベントなどで集まる機会が毎月設けられており、その中で取り組みなどの意見交換を行い、各ホームでのサービスの質の向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にアセスメントに行かせて頂きご本人様、ご家族様とお話をさせていただき、困っていることや、不安に思うことや要望などをお聞きし説明を行っている。ホーム見学や本人様との面談を重ね信頼関係の構築に努め安心を確保するための関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ホーム見学時からご家族の困っていること、不安なこと、要望などをお聞きして、ホームとしてできること、出来ないことの説明を行い、十分に納得していただくことで、ご家族の不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様との面談を行い必要とされている支援を見極め、ご本人様にとって最良と思われる支援を第一に考えて他サービス利用の紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の不安な気持ちを察し、ゆっくりと傾聴し共感できるような関係を作っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様のホームでの生活状況や、ご本人様の要望、思いを随時ご家族様へ報告し、共に考え、ご本人様にとって最良の提案をしていくよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後も馴染みの人との関係が途切れないよう、時にはご家族様の協力も得ながら、ご親族やご友人に気軽に訪問して頂けるよう働きかけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方同士お話しできるよう、座席の配慮や活動の支援、必要に応じて職員が介入し、関わり合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご逝去による退居はあるが、他施設へのご退去はまだない。 ご退居があった場合は、退居後もご本人様、ご家族様のへの支援を行う予定としている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族のご要望・ご意向を伺いケアプランに反映している。意思表示できない方については、ご家族からの情報をもとに表情や言動より意向や希望を把握し、ケアプランに反映している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人様より聞き取り、また、入居前の担当ケアマネより基本情報等でこれまでの暮らしや、馴染みの物、習慣など把握に努めている。入居後の新たな情報収集も記録し、支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル・食事・排泄・水分量など個人記録へ記入、心身の状態等も変化があれば、個人記録・日誌・ケアプラン実施表に記入し、全員が共有できるようにしている。また、毎日朝夕、申し送りを行い、些細な変化にも情報共有を行い、一人ひとりの現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様がより良く暮らせるために、ご本人様の希望、ご家族様の希望を踏まえ、主治医や看護師からの助言や指示などをもとにユニット会議やカンファレンスで話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録は個人別に処遇記録、日報に記載し、職員間で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族様のご希望に添えるよう来所持などにコミュニケーションを図り、意見を聞くようにしている。またその意見を踏まえて柔軟なサービスが提供できるように日々検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍外出の頻度は減っているが、事業所のすぐ前にあるコンビニやJAに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の訪問診療を2週間に一度受診している。また、急変時及び緊急時にも適切な医療を提供できる体制がある。協力歯科医も一週間に一度訪問され希望に応じて受診可能。病院受診になった際などは、ご家族様の希望される病院への受診の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと連携して利用者様の日常の健康管理を行っている。また24時間オンコール体制を取り、主治医の指示のもと、適切な医療を受けられる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、サマリーを作成し、病院へ情報提供を行っている。また退院時は病院よりサマリーを作成してもらい情報共有に努めている。また定期的に病棟に連絡、面会し状態把握に努めている。ご家族様とも連携をとり、早期退院を目指して取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や終末期の在り方について、本人様、ご家族様の意向を聞き取りしている。また、本人様に終末期が近づいた時には、本人、家族、主治医及び各関係者や職員としっかりと話し合い、事業所でできることを十分に説明を行いながら、方針を共有し、各関係者とチームで支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故救急対応マニュアルを作成し、応急手当・初期対応の勉強会を研修時や消防訓練時に取り入れ、実践力が身に付くように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防訓練を実施しており、あらゆる災害を想定した避難訓練を行っている。マニュアル・緊急連絡網を各ユニットに設置し、消防訓練の報告は家族様へのお便りや運営推進会議でお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的な全体会議にてプライバシー保護研修を実施している。 また日々のケアの中で不適切な言葉かけがないように朝礼、夕礼時に声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いやりのある声かけやケアに心掛け、信頼していただくことで、思いや希望を表しやすい環境をつくるように努めている。また、本人様の選択の権利を大切に、ご自身で自己決定ができるよう支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切に、その方がその日をどう過ごしたいか、入居者様の自主性を尊重し、出来る限りその方の希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の希望に合わせ、2ヶ月を目安に一訪問美容でカラーやカットを行っている。行事・外出などの際に、ご自分で好みの服を選んでいただくなどの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食は一週間に二日、パン食など好みのものを召し上がっていただけるよう対応している。月に一度行事食にてご入居者様が好きなお刺身やお寿司などを提供したり、おやつもご入居者様のリクエストを聞きながら喜んでもらえるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事・水分量はチェック表において把握し1日の必要量が確保できるように支援している。食事に関しては、管理栄養士によるメニューを基本に提供、また、楽しんで水分摂取ができるようコーヒー・紅茶・ココアなどの提供を行ったり、栄養状態が低下している方には主治医と相談し栄養補助飲料を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行い、自立度に応じた介助や義歯洗浄をおこなっている。必要時や希望の方には、週1回歯科診療・歯科衛生士による口腔ケアを受けていただくなどの支援しており、誤嚥予防に口腔体操にも力を入れている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を利用し一人ひとりの排泄パターンを把握、パットの使用量軽減に努めている。できる事は、ご自分で行って頂くことを基本ケアとし、自立に向けた支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事では、野菜を多く、栄養バランスを考えながら、食物繊維が取れるメニューを提供したり、体操や散歩など無理せず体を動かせるように支援を行い、食事・水分量の把握をし予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の体調や希望に応じ、気持ちよく入浴して頂けるよう努めている。また、今までの生活習慣を大切に、夕食後に入浴を希望される方にも対応して、できる限り一人ひとりの希望に沿った支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活パターンに合わせ昼間にも居室で休めるなどの支援を行っている。また、安心して眠れるように居室の環境づくりや就寝前に会話を行うなどの支援を行ったり、今までの生活習慣を継続し、晩酌を提供など、安眠できるような支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬については、薬処方一覧表を用い服薬マニュアルに沿って服用して頂いている。また、一人ひとりが服用されている薬や効能、それに伴う副作用を薬情ファイルにて確認・理解し症状に変化があれば主治医へ報告・相談している。処方変更時には様子観察を行い記録に残し、情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今までの生活で培われた家事や得意な事を活かしていただき家事の分担などを行っている。気分転換にドライブや好きなアイスクリームを食べに出かけたり晩酌などを楽しみ、笑顔になって頂けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望に合わせて散歩や近所のコンビニに買い物の支援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人様が欲しいものは、購入することが可能なように支援している。財布の所持はされているが全員ではなく、ホームの立替金で買い物をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(輝ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様より希望があったときには、ご家族やご友人に電話をしていただけるよう対応している。ご家族様の大切な日には、職員から電話をかけることを勧めるなどの対応を行っている。ご家族様によってはお手紙を書いて下さりご本人様に手渡し読み上げの支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ごちゃごちゃ物を置くのではなく、季節的な飾りなどを所々飾るようにしている。また、フロア内の臭いが不快なものにならないように消臭スプレーなどを用いて気を付けている。全体的には居心地よく過ごせるように工夫はしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングには季節を感じていただける様、壁には季節の飾り物をしている。フロアの中央にはゆったりと過ごしていただけるようにソファが2つあり歌番組や野球観戦をしながら談話されている。キッチンも、ご利用者様と料理が作れるよう整備されており、調理や食後の食器洗いや片づけを一緒に行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間では、気の合ったご利用者様同士で楽しくお喋りができたり、ひとりで読書をして過ごせるように、ソファの位置や座席の配置など配慮している。また、テラスや庭でも思い思いに過ごせるよう環境の整備を行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで移動がしやすく、廊下には手すりを設置、車椅子も入るトイレにはマークを貼付する等、誰もが安全に自立した生活ができるよう配慮している。また、一人ひとりの自立度に変化に応じ、その都度話し合いを行い、環境を整備している。		

V アウトカム項目(輝ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム広島矢野西

作成日 令和5年7月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍での開設の為、地域との付き合いはほとんどない状態だった。	月一回は地域住民との交流の場を設けるようにする。	①地域清掃への参加。 ②地域活動への参加。 ③地域への入居者様との挨拶まわり。	①2ヶ月 ②2ヶ月 ③1ヶ月
2	3	「認知症」についてホームからの発信が全くできていない。	定期的にホームからの「認知症」についての発信を行う。	認知症カフェの実施。	2ヶ月に一度
3	15	ホーム長しか関係を築けていない。家族が担当者が誰か分からない。	入居時に必ず対応するユニットリーダー、担当職員も関係をもつ。	①入居前面談。 ②入居してからできるだけ早い段階で家族と担当職員の顔合わせを行う。	①入居前 ②入居した1週間以内
4	20	各入居者が入居前にどういった交友関係があったのか分かっていない。	入居前に親しかった人との再会、思い出の場所へ行く。	ご家族へどのような人間関係だったのか？思い出の場所はどこか情報収集する。その後実現できるように取り組む。	情報収集は随時。 実行は早くて3ヶ月後。
5	40	個別に食べたい物の対応ができていない。	月に一度は食べたい物を食べる機会を設ける。 誕生日月は本人の意向に沿った食事の提供を行う。	①担当職員による食べたい物の抽出・実施。 ②調理スタッフの協力を得て誕生日食を提供する。	①随時 ②誕生日月
6	48	提供する活動のマンネリ化と職員本位での役割提供不足。	【活動】 毎日違う活動ができるように計画・実行する。 【役割の提供】 職員が一緒になって行える役割をまず考え、実施する。	①活動 週間予定表を作成し実施。 ②役割の提供 役割になることを抽出し、誰に、何を、どのように提供するか考えてみる。	①2ヶ月 ②2ヶ月
7	49	職員、入居者ともに外にあまり出たがらない。	職員、入居者より「行ってみたい」と発言ができるようにする。	外に目的を明確にする。(目標をつくる)	①2ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。